

学 校 評 価 (考 察)

令和7年度 椿泊小学校

I 成果について

- 1 本年度も、地域の環境や人材を生かした活動や他校との交流活動など、へき地・小規模校である本校の強みを生かした教育活動を展開することができた。
- 2 児童の学校評価に関するアンケート結果から、ほとんどの項目で「よくあてはまる」「ややあてはまる」の回答が100%であった。“みんな仲良く元気に”の校訓のもと、児童は生き生きと学校生活を送ることができたと考える。また、否定的な発言が見られていた児童が、前向きに考え生き生きと活動する様子がよく見られるようになったこともうれしいことである。
- 3 児童に主体的に取り組むことの価値を理解させて実践の機会を多く持たせることにより、自ら進んで行おうとする積極性や創造性が育ってきた。
- 4 学校教育目標の実現に向け、全教職員が共通理解を図り、協働して組織として取り組むことができた。
- 5 全校体育や全校音楽を取り入れることで、友だちとの人間関係を築き表現力の育成を図ることができた。特に、市音楽会や県ダンス発表会に積極的に参加し、児童と教職員が一体となって生き生きと活動に取り組み、関係者から高評価を得ることができた。
- 6 運動場が高台にあり校舎より離れているため、休み時間は体育館や中庭で遊ぶことが多く、遊び方にも偏りが見られていた。本年度は、運動場にバスケットゴールを設置していただいたり、教員と一緒に運動場で遊ぶ機会を作ったりして、多様な運動に触れさせる機会が増えた。
- 7 昨年度末、地震・津波・暴風雨等の災害発生時に備えた備蓄品の確保に力を入れた。閉校後も、有効活用できると思われる。

II 課題について

保護者の学校評価に関するアンケートの結果から、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の回答が60%の『お子さんが家で手伝いや仕事をしている』や70%の『早寝早起き』や『お子さんが家庭で宿題以外の学習や読書をしている』について家庭と連携を図りながら指導を充実させる。

III まとめ

本年度の「椿・椿泊合同運動会」は、児童・保護者・地域・椿町中に在籍していた生徒が一体となって盛り上げ、素晴らしい運動会になった。椿町中に続いて、本年度は本校も閉校となるが、工夫をしてこの運動会を続けていくことを願っている。

また、小中一貫教育を続けていくことが難しいなか、本年度も椿小との交流を行うことができた。いろんな面で、支えていただき感謝している。

